

# みなとかまいし 地区会議だより

平成24年6月15日発行 第1号

【発行】みなとかまいし地区会議  
議長 高橋 松一

【事務局】釜石地区生活応援センター  
電話 23-0180 FAX22-6375

みなとかまいし地区会議は、釜石湾に面した市の中心部に位置する29町内会と関係団体で構成され、平成21年3月25日に設立し「地域内の防災体制の整備」を主要課題に掲げ、各種活動を推進しています。

## 平成24年度第1回総会を開催しました

5月22日(火)青葉ビルで第1回総会を開催し、平成24年度の事業計画と収支予算を決定しました。

### 24年度の主な事業計画

- ① 地域内防災体制の整備に向けた活動  
災害に備えて備蓄品を購入し、地区内の主な集会施設に配備する。
- ② 視察研修の実施  
復興まちづくりについて学習するため、視察研修を実施する。
- ③ まちの元気を発信する活動
  - ・横断幕『絆 心は一つ 震災復興がんばろう釜石』を地区内4箇所に設置する。〈設置期間:24年6月11日～25年3月11日〉
  - ・関係団体とともに、講演会やイベントを開催する。  
〈復興支援元気発信歌謡コンサート 5月27日実施〉  
〈地域の志を語る講演会の開催 11月上旬予定/場所は未定〉
- ④ 懇談会や研修会の開催  
復興まちづくり計画に地区の意見を反映させる。



## 出席者の発言から

総会では、さまざまな意見が出されましたが、その中からショッピングセンター、町内会活動、防災教育についての発言を紹介します。

### ショッピングセンターの進出

- 同種同規模の大型店を視察し、周辺への影響などについて学び、まちづくりの参考にしたい。
- 大型店を誘致し、周りの商店街も頑張ろうという機運を盛り上げ、まちの復興につなげたい。

### 町内会活動の現状

#### 【天神町仮設団地自治会】

139戸、約360人が住んでいる。色々な地区の人が集まっていて、自治会への入会を拒否する人もあり、全体把握や声掛けが難しい。

#### 【浜町2丁目(仲町)町内会】

地区住民の多くが震災で被災し、市内外にばらばら避難して生活している。町内会の存続について解散することも考えたが、これまでの絆を切らずに、年に1、2回でも集まろうということになった。

### 防災教育

○地区会議では震災前から地域の防災に取り組んできた。震災時、子供たちが地域の高齢者と一緒に避難できた。防災教育の成果だと思う。今後も安全マップ作りなど、地域住民と子供が協力して活動したい。



# 平成24年度 まちづくり説明会を開催しました

5月22日(火)総会に先立ち、野田市長をはじめ17人の市職員の皆さんの出席をいただき、①復興への取り組み、②平成24年度市予算とみなとかまいし地区の公共事業、③地区会議要望の対応状況、について説明を受け、意見交換を行いました。



## 復興

への取り組み

### 「被災地における各種建築規制について」

#### ○被災市街地復興推進地域の指定による建築規制

復興事業の都市計画が定められるまでの間、復興事業の実施に支障となる建築行為等を制限する。  
〈平成24年7月～平成24年9月(予定)〉

#### ○土地区画整理事業等の都市計画決定による建築規制

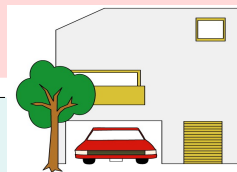
復興事業の都市計画決定(平成24年9月予定)後に、復興事業の実施に支障となる建築行為等を制限する。  
〈平成24年9月～平成30年度(予定)〉

#### ○災害危険区域の指定による建築規制

復興事業後も最大クラスの津波の浸水が想定される地区について、より安全性を高めたまちづくりを行うため、住居に一定の制限を行う。  
〈平成25年3月以降予定〉

### 「災害公営住宅整備の現状と今後」

- ・規模・間取りは1LDK(約50㎡)、2LDK(約60㎡)の組み合わせ。県施工は1DK、2DKと3DK。
- ・現在、平田地区に120戸、野田地区に40戸着工。平成25年度の完成・入居を予定。
- ・東部地区(天神)は平成24年度、東部地区(中心部)は平成25年度の着手予定。



## 地域課題

についての意見交換

- 大雨と満潮が重なった場合などに氾濫する汐立川の水害対策として、抜本的な排水対策をしてほしい。  
⇒ 今後のまちづくり計画に反映させたい。[都市整備推進室]
- 天神沢は大雨のたびに流路が塞がり氾濫し、地盤沈下の影響もあり、街中が冠水する一因となっている。5月3日の大雨の際も天神町仮設団地内で床下浸水する箇所があった。早急に対応してもらいたい。  
⇒ 現在の予算には反映していないが、今回の教訓を認識し、対応したい。[市長]  
⇒ 仮設の床下浸水は管理者の県に抜本的な見直しをお願いしている。[市民生活部長]
- 市の災害備蓄品を市と町内会が共同管理できるようにしてほしい。  
⇒ 水、食料等の公的備蓄品は、地域や消防団の意見を聞きながら効率的な配備と管理を行いたい。地域においては、個人備蓄や町内会・自主防災会での共同備蓄を検討してほしい。[防災危機管理課]  
⇒ みなとかまいし地区会議の今年度事業にて、主な集会施設へ災害備蓄品を配備します。  
[みなとかまいし地区会議事務局長]

## 災害備蓄品を 配備します

今後、災害時の避難場所に必要と考えられる  
**発電機・投光器・拡声器**などを  
地区内の集会施設などに配備します。  
備蓄品や申し込み方法についてなど、詳しくは、  
各町内会長さんにお知らせします。

## 視察研修

釜石に開業予定のショッピングセンターと同種同規模の店舗を視察し、開業から5年間の商業の動向について学びます。

日 程:平成24年7月6日(金曜日)

研修先:宮城県登米市『イオンタウン佐沼』、  
登米中央商工会

時 間:午前8時出発(釜石市役所前)  
午後6時帰着予定

≪ 申し込み:町内会長さんを通して、  
みなとかまいし地区会議事務局へ (22-0180) ≫

